

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史 科目 歴史探究

教科: 地理歴史 科目: 歴史探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて整理したりする力や、考察したことを基に効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	歴史に関わる諸事象について課題を主体的に解決する態度を養い、多面的な考察を通して認識される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、世界と日本の歴史を関連付けながら理解するとともに、諸資料から現代の世界に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開にかかわる事象について意味や特色などを推移、比較、現代とのつながりなどに着目して多面的に考察したり、課題を構想したりする力や構想したことを説明する力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を自ら探究する態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
<b>単元 1 アジア太平洋戦争</b> 【知識及び技能】 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して主題を設定し第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦について総力戦の特色を踏まえ、この戦争がもたらした惨禍に着目して、平和な国際社会の実現に努める重要性を認識する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 1.戦時体制の強化 2.第二次世界大戦の展開 3.植民地台湾・朝鮮の人々 ・教材 教科書・ワークシート・スライド資料	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解させる。 【思考力・判断力・表現力】 戦争の推移と国民生活への影響などに着目して主題を設定し第二次世界大戦と日本の動向の関わりについて考察し表現している。	○	○	○	8	
	・一人1台端末の活用(場面) 思考活動・本時の振り返り入力	【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦について総力戦の特色を踏まえ、戦争の惨禍に着目して、平和な国際社会の実現に努める重要性を自ら追求している。					
	<b>単元 2 戦後の国際秩序</b> 【知識及び技能】 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしているか理解する。 【思考力、判断力、表現力】 東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて興味・関心や疑問を見出して学習に取り組む。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 1.新たな国際秩序と冷戦の始まり 2.アジア諸地域の独立 ・教材 教科書・ワークシート・スライド資料	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 第一次世界大戦、第二次世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築していかうとしているか理解している。 【思考力・判断力・表現力】 東アジア諸国の独立の経緯を考察し、旧宗主国はどのような対応をとったのかを、各国別に表現している。	○	○	○	6
	・一人1台端末の活用(場面) 探究活動・本時の振り返り入力	【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後のイスラエル成立によりパレスチナ問題が深刻化したことについて、課題や疑問を見出して学習に取り組もうとしている。					
1 学期 <b>単元 3 占領と改革</b> 【知識及び技能】 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興、及びその後の政治・社会・国民生活の変容を理解する。 【思考力、判断力、表現力】 戦後の国家・社会の変容、日本経済の発展などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象を根拠として表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決する。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 1.占領と民主改革 2.占領と日本国憲法の成立 3.冷戦の開始と経済復興 4.独立と日米安保体制の形成 5.国際社会への復帰と対米協調 ・教材 教科書・ワークシート・スライド資料	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興、我が国の再出発及び政治・社会・国民生活の変容を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 戦前と戦後の国家の変容、戦後政治の展開、日本経済の発展などを多面的・多角的に考察し表現している。	○	○	○	7	
	・一人1台端末の活用(場面) 思考活動・本時の振り返り入力	【学びに向かう力、人間性等】 戦後日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。					
	<b>単元 4 冷戦と世界経済①</b> 【知識及び技能】 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後に独立したアフリカの国々で、いまだに安定していない国家について追究したいことを見出し学んでいる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 1.集団防衛体制と核開発 2.米ソ両大国と平和共存 3.西ヨーロッパの経済復興 4.第三世界の連携と試練 ・教材 教科書・ワークシート・スライド資料	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 西側陣営、東側陣営によるそれぞれの防衛体制の構築について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 「雪解け」や米ソ関係の冷えこみなど、冷戦下における外交関係の変化を考察している。	○	○	○	8
	・一人1台端末の活用(場面) 思考活動・本時の振り返り入力	【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後に独立したアフリカの国々の現状について、自分が抱いた興味・関心や疑問を見出して学習に取り組もうとしている。					
定期考査(第1学期中間考査)/返却と解説							
定期考査(第1学期期末考査)/返却と解説							

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史 科目 歴史探究

教科: 地理歴史 科目: 歴史探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて積極したりするか、考察したことを基に効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	歴史に関わる諸事象について課題を主体的に解決する態度を強い、多面的な考察を通して認識される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、世界と日本の歴史を関連付けながら理解するとともに、諸資料から現代の世界に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開にかかわる事象について意味や特色などを推移、比較、現代とのつながりなどに着目して多面的に考察したり、課題を構想したりする力や構想したことを説明する力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を自ら探究する態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 5 国際社会への復帰と経済成長	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
アジア諸国との関係・社会・経済・情報の国際化などを基に対外関係、現代の政治や国民生活の変容を理解する。	1.アジア情勢の変化と経済大国日本2.1970年代の国際社会と日本3.安定成長への転換4.高度経済成長下の日本	アジア諸国との関係・社会・経済・情報の国際化などを基に、政治・経済や対外関係、政治、国民生活の変容を理解させる。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけて考察し、様々な社会問題の発生について表現する。	教科書・ワークシート・スライド資料	日本の経済復興や高度成長を国際関係から関連づけたり、様々な社会問題の発生について表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
現代日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	探究活動・本時の振り返り入力	現代日本の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。				
単元 6 冷戦と世界経済②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解する。	1.核戦争の恐怖から軍縮へ2.冷戦構造のゆらぎ3.世界経済の転換4.アジア諸地域の経済発展と市場開放	核軍縮に対する米ソや国際社会の取り組みについて理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
1970年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察する。	教科書・ワークシート・スライド資料	1970年代に経済成長を重視する価値観からの変容が進んだ要因を考察している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
開発独裁が今日にもあるとすれば、どのような形で存在しているのかについて、自分が抱いた興味や疑問を見出し取り組む。	制作活動・本時の振り返り入力	開発独裁が今日にもあるとすれば、どのような形で存在しているのかについて、自分が抱いた疑問を見出して学習に取り組もうとしている。				
定期考査(第2学期中間考査)/返却と解説						
単元 7 激動する世界と日本	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
日本経済の成長や高度成長期の国民生活を諸資料から読み取る。	1.新しい国際秩序と日本の課題2.激変する世界と日本3.21世紀の日本4.「国際化」する経済大国5.新たな世紀の日本へ6.エネルギー革命	冷戦やグローバル化の進展の影響などに着目して、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活や地域社会の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	7
国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について表現する。	教科書・ワークシート・スライド資料	国連平和維持活動への対応や経済不況に対する国内改革など、冷戦終結後の日本が抱える課題について表現している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、主体的に追究しようとしている。	プレゼンテーション・本時の振り返り入力	冷戦終結後の国際社会において日本がどのような役割を果たしてきたのか、主体的に追究しようとしている。				
単元 8 冷戦の終結と今日の世界①	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
【知識及び技能】	・指導事項	【知識及び技能】				
東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解する。	1.冷戦の終結と国際情勢2.ソ連の崩壊と経済のグローバル化3.ソ連の崩壊と経済のグローバル化4.地域紛争の激化	東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。				
【思考力、判断力、表現力】	・教材	【思考力・判断力・表現力】	○	○	○	8
ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察する。	教科書・ワークシート・スライド資料	ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察している。				
【学びに向かう力、人間性等】	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
ベトナム反戦運動と公民権運動がアメリカの政治に与えた影響を考察する。	探究活動・本時の振り返り入力	東欧革命による各国での新体制をについて、自分が抱いた興味・関心を見出して学習に取り組もうとしている。				
定期考査(第2学期期末考査)/返却と解説						

令和 8 年度 年間授業計画 教科 地理歴史 科目 歴史探究

教科: 地理歴史 科目: 歴史探究 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 歴史総合 近代から現代へ【山川出版社】

教科 地理歴史 の目標:

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて論議したりする力や、考察したことを基に効果的に説明したり、議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	歴史に関わる諸事象について課題を主体的に解決する態度を養い、多面的な考察を通して認識される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史探究 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、世界と日本の歴史を関連付けながら理解するとともに、諸資料から現代の世界に関する情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開にかかわる事象について意味や特色などを推移、比較、現代とのつながりなどに着目して多面的に考察したり、課題を構想したりする力や構想したことを説明する力を養う。	第二次世界大戦後の歴史の枠組みと展開に関わる諸事象について、課題を自ら探究する態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
単元 9 冷戦の終結と今日の世界②	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 現代世界の諸課題	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 グローバル化のなかで福祉国家体制から、新たに登場した新自由主義について理解し、経済格差などの課題に対してどのように対応していけばよいかを理解している。 【思考力・判断力・表現力】 地域紛争やテロ、難民に対する排外主義の問題について、原因を理解し、どのように対応していけばよいかを考察している。 【学びに向かう力、人間性等】 人間のもつ基本的人権を理解し、男女の平等、性的差別の問題について、自分が抱いた興味や疑問を見出して学習に取り組む。	○	○	○	4
単元 10 現代の日本の課題の探究	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項 1.社会や集団と個人2.世界のなかの日本3.伝統や文化の継承と創造	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 第二次世界大戦以降の日本のようすを学び、現代の日本の課題を理解している。 【思考力・判断力・表現力】 現代の日本の課題の形成に関わる歴史と展望について多面的・多角的に考察・構想して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の学習を振り返り、自身との関わりをふまえて持続可能な社会の実現や科学技術の発展を視野に主体的に探究する。	○	○	○	6
単元 11	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
単元 12	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
	・教材	【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)	【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説						